

# 未来への提言

私のポリシー

東北総合通信局長  
伊丹 俊八



## ICTによる社会貢献の拡大に向けて

最近、情報通信技術（ICT）によるイノベーションが急速に進展しており、社会や経済活動への利用が進展しつつある。一方で ICT の技術革新のスピードが非常に速く、様々な新しい技術やサービスが登場するため、その多様な情報を入手し、何をどのように利用すれば自らの課題解決に最大の効果が発揮できるかについて、具体的なアイデア提案や社会実証・評価がまだまだ十分できない自治体や企業も多くあるのではないかと感じています。

特に、今、IoT（Internet of Things）の利用により、様々なセンサー等の情報を電波やインターネットを経由して瞬時かつ大量に収集することが比較的安価かつ容易に実現できるようになりました。更に、こうして集めたビッグデータから AI（人工知能）の技術を適用することにより新たな価値・サービスを創出することも可能になってきています。東北地域においても、これらを適切に利用することにより、東日本大震災からの復興・創生における新たな街づくりをより進展させるとともに、農林水産業の振興や観光振興を始め、教育、防災、医療・福祉などの地域の社会的課題の解決に貢献できるものと期待されています。

この実現には、地域の社会的課題をどのように解決するかについて、様々な分野の方々から様々な視点でのアイデアを出し合い、それらを共有しつつ、その地域の実態にマッチした IoT のエコシステムをデザインすることから始めることが重要と考えます。

このような状況において、東北総合通信局の果たすべき役割は何かについて、日々、自問自答しながら、職員とともに業務に取り組んでいるところです。当面、地域の IoT の先進的な実証やその実装を促進するための支援事業の実施に加えて、IoT に関心のある自治体に最適かつ多様な事例や実運用の課題克服の事例などの情報提供、先進的な取り組みを行っている自治体の方々、関心があるがこれからという自治体の方々、ビジネスや社会展開を考えている企業や大学の方々等との間の意見交流を促進するためのアイデアソンや勉強会等による人材交流、セミナー等の普及啓発活動の取組などを強化していきたいと考えています。このためには、産官学の連携・共働が不可欠であり、東北情報通信懇談会の活動に期待しつつ、皆様とともに取り組んでいきたいと考えておりますのでどうぞよろしくお願いいたします。